

## 9 日間の思い出

吉田中学校 堀内 菜由

8月1日から9日まで富士吉田市と姉妹都市であるコロラドスプリングス市に行ってきました。事前研修会ではコロラドスプリングス市のことについて学習していききました。コロラドスプリングス市は、富士吉田市に比べ面積が約4倍大きいと学んで行きました。実際訪れてみると私が想像していたよりもはるかに大きく、自然豊かで森に囲まれた町でした。現地を移動中、引率者より車で横断すると約1時間かかると聞き、広さを体感することができました。ビルが少ないため見上げると、180度青い空を見ることができることに驚きました。標高が高く、雲がとても近くに感じました。私がお世話になったホームステイ先も森の中にあり、まるで絵本に出てくるお城のような家でした。早朝には家の近くでシカやウサギ、リスなどの動物たちを観察することができます。近くにはハイキングコースもあり、自然の豊かさに衝撃を受けました。ロッキー山脈やガーデン・オブ・ザ・ゴッツのような自然、オリンピックトレーニングセンターのような立地条件を生かした施設を訪れて、特性を生かして街づくりをしていることが富士吉田市と共通しているところだと感じました。

共通していることとは反対に、異なることもありました。それは、日本とアメリカの家屋の違いです。私の家は二階建て住宅ですが、お世話になった家は地下一階平屋でした。引率者よりこの辺りではこのような形態の家が多いと聞き、日本との違いに驚きました。話には聞いていましたが、靴を脱がない生活に初めは戸惑いました。日本では、玄関で靴を脱ぎ、廊下ではスリッパを履き、畳の上ではスリッパを脱ぎますが、室内も室外も靴を履く生活スタイルを実際に体験してその違いが不思議で面白いと感じました。食生活も違いましたが、私が一番驚いたことは緑茶に大量の砂糖を入れていたことでした。基本アメリカでは甘い飲み物しかないようです。私は日本から緑茶を持って行ってよかったと思いました。

ホストファミリーは、私たちを様々な場所に案内してくれました。ロッキー山脈、山、スーパー、動物園、プール、さまざまなレストランなど短い滞在の中で色々考えてくださいました。その中で特に印象的だったのは、ロッキー山脈と動物園です。ロッキー山脈では、夏なのに雪が残っていて気温が低く寒かったです。深い青色の空、白い雪、青々とした木々は美しかったです。動物園では、山の上にあるため展望台から見た街並みが素敵でした。また、キリンとの距離が近く舐められたことが印象的です。

9日間の滞在中、初めはホストファミリーが話していることを上手く聞き取ることができませんでした。戸惑っている私に、ホストファミリーはゆっくりと、わかりやすい単語で話してくれました。徐々に会話の内容を理解することができ、最終日にはホストファミリーの会話をほぼ理解できるようになりました。しかし、自分の思っていることはうまく表現することができず、悔しい気持ちで帰ってきました。伝えたいことを表現できるよ

うに英語の勉強を今まで以上に頑張りたいです。

私は、人と積極的に関わることが得意ではありませんが積極的に派遣団の仲間と交流を深めることに努めました。初めはぎこちなく、仲間とあまり話すことができませんでしたが、共に研修、生活をしていくなかで楽しく笑いあえたり、困ったときには相談して助け合えたりすることができました。最終日には、仲間と仲良くなれて何事もチャレンジすることが大切だと実感し、この事業を通して自分でも成長できたと感じています。この仲間と一緒に派遣事業に参加できてよかったです。

最後に私の背中を推してくれた家族、友人、一緒に事業に参加した仲間、温かく迎え入れてくれたホストファミリー、推薦してくださった学校の先生方、見守ってくださった富士吉田市とコロラドスプリングス市の関係者の方々へ感謝しています。本当にありがとうございました。